

議事録

日時：平成21年11月16日（月）14：00～17：00			会場：地盤工学会会議室		
部長 古屋 弘	○	理事 李 圭太	×		
部員 清木 隆文	○	部員 竹山 智英	○	部員 原 忠	○
部員 津野 究	×	部員 王 林	○	部員 中野 正樹	×
事務局 下山 礼子	○	事務局 古藤 田 純	○		

【議題】

一般事項

《報告・確認事項》

1. 議事録者の指名……(別紙-1)
 - ・清木部員が指名された。
2. 前回議事録の確認：事業部会（9/11）……(別紙-2)
 - ・事務局から資料に基づいて確認した。なお、議事録中、新刊本出版趣意書の不明な点は、李理事に確認することになった。
3. 平成21年度事業部収支報告（10月末現在）……(別紙-3)
 - ・10月達成目標58%に対して48%（収支差目標1900万円に対して900万円）であるので、支出を抑えて約300万円節約する案が提案された。
4. 平成22年度事業部予算案……(別紙-4)
 - ・事務局から平成21年度の売上を反映し、収入を1000万円程度下方に見積もった一次案が提案され承認された。講習会人件費約1600万円が支出に見込まれるなど、例年と異なる点が説明された。
5. その他……(別紙-5)
 - 事務局から、発刊が遅れている委員会に対して理由書を出版企画委員長名で問い合わせた結果、「土の締固め」編集委員会から、理由書とともに半年遅れの2010年6月出版予定のスケジュール修正案が提出されたことが報告された。

出版企画委員会

《報告・確認事項》

1. 前回議事録の確認（9/11）……(別紙-6)
 - ・事務局から説明され、承認された。
2. 各編集委員会および出版作業進捗状況報告……(別紙-7)
 - ・事務局から資料に基づいて、状況が報告された。

《審議事項》

1. **新刊本出版計画書**……(別紙-8)
 - ・事務局から「山留における創意・工夫（仮称） -（副題）-」出版計画書の前回からの変更点が説明され、4ヵ月出版期間が短縮された計画書が承認された。
 - ・古屋事業部長より、新刊本のためのテーマについて、年4冊程度の新規格が望ましいとの発言がなされ、会員や各研究委員会などから出版テーマのニーズを吸い上げる方法について、出版企画委員会に検討するように指示が出された。
 - ・王委員から、モニタリングに対する新刊本の検討が出版企画委員会に要請された。
2. **既刊本の見直し結果**……(別紙-9)
 - ・清木委員が、「入門シリーズ 地盤工学数式入門お」および「ジオテクノート3 有効応力」を絶版（在庫切れ後）とすることを説明し、承認された。
3. **既刊本の増刷**……(別紙-10)
 - ・事務局から「現場シリーズ 16. 軟弱地盤対策工法-調査・設計から施工まで-」を増刷しない案が説明された。この書籍の内容は確かに古いですが、この内容を取り込んだ新刊が出るまで、2年程度かかることから、事業部会案と

して、200冊増刷するものとして、出版企画委員会に審議を差戻すことになった。

・事務局から「入門シリーズ34. 地下水を知る」の増刷500部の案が提案され、承認された。

4. 新刊本の初版印刷部数と価格について……(別紙-11)

・事務局から「入門シリーズ37. はじめて学ぶ土壌地下水汚染」を旧ルールに従い、700部で印刷する案が説明され、承認された。

5. 都市の地盤の原稿料について……(別紙-12)

・事務局から印税を3% (通常8%) の辞退比率を66%として著者に約100万円の印税を支払う案が説明された。
 ・古屋事業部長から、辞退比率は、印税の辞退者が居ても残りの執筆者に印税を定額支払うルールであるので、この提案を退け、印税を学会ルールに則り適正に払うことを編集委員会に指示するよう出版企画委員会に差し戻された。

6. 翻訳出版依頼について……(別紙-13)

・事務局から資料に基づいて説明され承認された。なお、eメールでのやりとりではなく、正式に書面での取り決めを交わすことが確認された。

7. 2009年度販売促進キャンペーンについて……(別紙-14)

・清木委員から、販促キャンペーン案が説明された。その結果、(1) 今までの販促キャンペーンを今年度限りとし、廃棄本の販促キャンペーンの継続。(2) 全シリーズから5冊以上、10冊以上のセット買いの割引案 (原価割れしない割引率20%を上限) を事業部会案として、販売促進・企画WGに提案することになった。

8. 編集委員の追加

・実務シリーズ29. 近接施工法編集委員会に、家壽田氏 (東京都)、荒田氏 (NTTインフラ)、佐藤氏 (東京電力)、寶松氏 (鹿島建設) に新規委員として参加して頂く件を承認した。

技術普及委員会

《報告・確認事項》

1. 前回議事録の確認 (9/7) ……(別紙-15)

・資料に基づいて確認した。

2. 平成21年度講習会収支報告

9,10月

講習会名	会場	収入予算 (円)	会員	非会員	学生	後援	予定	参加者	率
	開催日		収入実績 (円) A		支出実績 (円) B				
建設工事における環境保全技術講習会	JGS会館	385,000	10	10	0	0	40	20	50%
	9月8日		230,000		292,354		-62,354		
第1回地盤の連続体力学入門講習会	JGS会館	531,000	12	4	7	0	42	23	55%
	9月15日		111,000		122,865		-11,865		
わかって使うFEM講習会	JGS会館	990,000	19	3	1	0	18	23	128%
	9月28~30日		1,280,000		626,528		653,472		
海外工事・国際協力講習会	JGS会館	77,000	10	2	1	0	-	13	-
	10月20日		77,000		52,240		24,760		

H21年度5月～これまでの合計見込み

収入実績(見込み)	収支差の実績(見込み)
8,040,000	4,057,465

・事務局から上記3件中2件が赤字であるが、収支では、黒字の見込みであることが報告された。

3. 平成21年度WEBラーニング委員会の構成……(別紙-16)

・資料に基づいて確認された。

《審議事項》

1. 平成21年度講習会企画 (案) ……(別紙-17)

・資料にもとづいて確認された。

2. 平成 22 年度講習会企画 (案) ……(別紙-18)

・資料に基づいて 39 件の講習会案が確認された。

販売促進・企画 WG

《報告・承認事項》《審議事項》: 11/17 開催予定。 ……(別紙-13)

・11月17日に実施されることが確認された。

事業部

審議事項

1. 会務分担について

・次回広報委員会代理出席者について：古屋事業部長が12月7日に開催される同委員会に水野氏に代理出席をお願いし、快諾されたとの報告を受けた

2. 事業企画賞候補選定に関する細則の規程化 ……(別紙-20)

・竹山委員から細則について説明され、委員の選考方法、採点方法から、賞の選考に対して公平性が担保されることが確認された。

3. 事業企画賞の選定 ……(別紙-21)

・古屋事業部長から事業部からの選考が出ていないことが説明され、各委員が推薦できるものがあるか検討することになった。

その他

1. 次回以降事業部会開催日について

・1/12 (火)、3/9 (火)、4/27 (火) の予定 (次回の事業部会は1/12 (火) 00:00-00:00)

2. 次回理事会 (11/27 (金)) への提案事項の確認

審議事項

- 1) 新刊本出版計画書
- 2) 2009 年度キャンペーンについて
- 3) 事業企画賞候補選定に関する細則の規定

報告・承認事項

- 1) 既刊本の見直し結果 (報告)
- 2) 既刊本の増刷 (報告) なお、「軟弱地盤対策工法」については、出版企画委員会に差戻し
- 3) 新刊本の初版印刷部数と価格について (報告)
- 4) 都市の地盤の原稿料について → 出版企画委員会への差戻し
- 5) 翻訳出版依頼について (報告)
- 6) 委員の追加 (報告)
- 7) 平成 21 年度講習会企画 (案) (報告)
- 8) 平成 21 年度 WEB ラーニング委員会の構成 (削除)

3. その他

■理事会開催予定日

21年度：9/28 (月)、11/27 (金)、1/22 (金)、3/19 (金)、4/23 (金)、5/14 (金)、総会 5/27 (木)

主な理事会承認事項

・なし